

問題 (10/12) 2変数の関数  $f(x, y)$  を

$$f(x, y) = \begin{cases} x \sin \frac{y}{x} & x \neq 0 \text{ のとき,} \\ 0 & x = 0 \text{ のとき} \end{cases}$$

で定義する .

- ( 1 )  $f(x, y)$  は連続関数であることを示せ .
- ( 2 )  $a \neq 0$  のとき , 偏微分係数  $\frac{\partial f}{\partial x}(a, b)$  と  $\frac{\partial f}{\partial y}(a, b)$  を求めよ .
- ( 3 )  $\frac{\partial f}{\partial y}(0, b) = 0$  を示せ .
- ( 4 )  $\frac{\partial f}{\partial x}(0, 0) = 0$  を示せ .
- ( 5 )  $b \neq 0$  のとき ,  $\frac{\partial f}{\partial x}(0, b)$  は定義されないことを示せ .
- ( 6 )  $a, b$  を定数とする . 合成関数  $g(t) = f(at, bt)$  について ,  $g'(0)$  を求めよ .
- ( 7 )  $f(x, y)$  は ,  $(x, y) = (0, 0)$  で全微分可能かどうか調べよ .

略解 (10/12)

$$f(x, y) = \begin{cases} x \sin \frac{y}{x} & x \neq 0 \text{ のとき,} \\ 0 & x = 0 \text{ のとき} \end{cases}$$

(1)  $x \neq 0$  のときはよいから、 $x = 0$  のときに示す。

$\sqrt{(x-0)^2 + (y-b)^2} < r$  のとき、 $x \neq 0$  なら、 $|f(x, y) - f(0, b)| = |x \sin \frac{y}{x}| \leq |x| < r$  であり、 $x = 0$  なら、 $|f(x, y) - f(0, b)| = 0 < r$  である。したがって  $r \rightarrow 0$  のとき、 $|f(x, y) - f(0, b)| \rightarrow 0$  である。

(2)  $a \neq 0$  のとき、

$$\frac{\partial f}{\partial x}(a, b) = \sin \frac{b}{a} + a \cos \frac{b}{a} \left( -\frac{b}{a^2} \right) = \sin \frac{b}{a} - \frac{b}{a} \cos \frac{b}{a},$$

$$\frac{\partial f}{\partial y}(a, b) = a \cos \frac{b}{a} \left( \frac{1}{a} \right) = \cos \frac{b}{a}.$$

$$(3) \frac{\partial f}{\partial y}(0, b) = \lim_{y \rightarrow b} \frac{f(0, y) - f(0, b)}{y - b} = \lim_{y \rightarrow b} \frac{0 - 0}{y - b} = 0.$$

$$(4) \frac{\partial f}{\partial x}(0, 0) = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{f(x, 0) - f(0, 0)}{x - 0} = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{0 - 0}{x - 0} = 0.$$

(5)  $b \neq 0$  のとき、 $\frac{\partial f}{\partial x}(0, b) = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{f(x, b) - f(0, b)}{x - 0} = \lim_{x \rightarrow 0} \sin \frac{b}{x}$  である。  
 $x \rightarrow 0$  のとき、 $\frac{b}{x} \rightarrow \infty$  だから、右辺は定義されない。

(6)  $a \neq 0$  とすると、 $t \neq 0$  なら、 $g(t) = f(at, bt) = at \sin \frac{b}{a}$  であり、 $t = 0$  のときも  $g(0) = f(0, 0) = 0$  である。よって、このときは  $g'(0) = a \sin \frac{b}{a}$ 。  
 $a = 0$  とすると、 $g(t) = f(0, bt) = 0$  だから、 $g'(0) = 0$ 。

(7) 全微分可能とすると、合成関数の微分の公式がなりたつはずである。公式が成り立つとすると、(6) の記号で  $g'(0) = f_x(0, 0)a + f_y(0, 0)b = 0 \cdot a + 0 \cdot b = 0$  となるが、 $g'(0) = a \sin \frac{b}{a}$  は、0 でない値もとりうるから矛盾である。よって全微分可能でない。